



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1997～98年度 RIテーマ

国際ロータリークラブ会長 グレン・W・キンロス



ロータリーの心を

あなたの住むところ 私たちの世界 そこに住むすべての人々に

四大奉仕部門すべてを通じて ロータリーの心を示そう

- クラブ奉仕—あなたのクラブに ロータリーの心を
- 職業奉仕—あなたの職業に ロータリーの心を
- 社会奉仕—あなたの地域社会に ロータリーの心を
- 国際奉仕—私たちの世界に ロータリーの心を

第497回 平成10年3月13日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「奉仕の理想」
3. 食 事
4. 会 長 の 時 間
5. 幹 事 報 告
6. 各 委 員 会 報 告
7. 会員卓話 宮原建樹君
8. 点 鐘

- 次 回 予 告
- * 3月20日(金)
夜間例会
社会奉仕委員会
 - * 3月27日(金)
会員卓話
柳田光寛君

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30) 第2室	19:00	会 長	徳丸 彰一
例会場	石崎浜荘	☎0985-73-1913	副会長	加藤 仙之
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614		幹 事	梶田 與之助
	山脇医院長自宅内		会 計	福井 輝文
	☎880-02	☎(FAX)0985-73-7170	総務課長	垂水 敏雄

第 4 9 6 回例会記録

(1998. 3. 6)

☆会長の時間

徳丸 彰一 君

皆さん今日は、本日は第496回例会です。

前回ご了承いただきました、町議会議長斎藤一男氏からご依頼の件につきましては、本日の週報に掲載しましたような文書を作製し、3月2日に町議会事務局に提出しておきました。

3月3日に宮崎RCの職業奉仕賞贈呈式がありました。この賞は、宮崎RCの創立10周年記念事業の一つとして創設されたもので、当時、同RCの職業奉仕委員長をされていた岩切省太郎氏が「ロータリークラブも10年過ぎると錆が出る。それを落とすためには先駆的な奉仕を考える必要がある。」との観点から提案され、誕生したのだそうです。

受賞者は毎年県内から1名選考されていますが、今年(35回目)は、綾町で造林業をされている中竹 實氏に職業奉仕賞が贈られました。中竹氏は戦後50有余年森林作業に従事し、県有林事業協力会副会長としても地道に精励され、地域住民の人望も厚い方だそうです。

永年に亘って一つの職業に専念する隠れた地味な存在に光を当てる、この職業奉仕賞は、極めて意義が深いと思います。「自分の仕事で多年働いて来ただけに、表彰されるとは……」と素朴な表情で語られる中竹氏の自然な姿にも、ほのぼのと心が温まりました。

そして、『生涯を貫く仕事を持つ』楽しみみたいなものを感じました。

今回も、『華美に走らず真心込めて』をモットーにされている宮崎RCの手作りのすばらしい式典を拝見して、つくづく感動した次第でした。

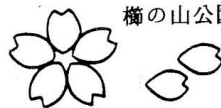
宮崎RCの志多昭彦会長より、先般の創立45周年記念式典出席に対するお礼状が届いています。

☆幹事報告

梶田 與之助 君

1. 例会変更通知

- *日向中央RC 3月11日 12:30
立縫の里(職場訪問)
- " 3月18日 18:30
はまぐり荘
- " 3月25日 12:30
米の山(観桜会)
- *串間RC 3月12日 12:30
串間給食センター
- " 3月19日 19:00
串間ボール
- *宮崎南RC 3月16日 12:30
航空自衛隊新田原基地
- " 3月30日 18:30
ホテル・プラザ宮崎
- *宮崎北RC 3月25日 18:00
ホテル・フェニックス
- *宮崎東RC 3月30日 18:30
B・B・B(赤江店)
- *日向東RC 3月31日 12:30
櫛の山公園(観桜会)



2. 1998年国際大会のご案内

- ◆期 日 6月14日～17日
- ◆開催地 米国インディアナポリス
- ◆参加ご希望の方は至急幹事へご連絡ください。

☆出席報告

委員長 宮原建樹君

会 員 数	25名
H C 出席者数	18名
欠 席 者 数	7名
出 席 率	72%
メークアップ者数	3名
修正出席率	84%
欠 席 者 名	詩・輝・藍・本

☆親睦委員会より

委員長 吉田康一郎君

1. 3月11日の歯車会ゴルフコンペ参加者は、徳丸・梶田・加藤・福井・池田・宮原・山本・吉田の8名の会員に決定しました。西都RCが6名、高鍋RCが9名参加されます。

なお、会費7,800円には食事代は含まれていませんので、各自ご自由に昼食はお選びください。(本日の週報の関係記事は訂正させていただきます。)

当日の懇親会は18:00から上田島地区の『かぼちゃ』で開催します。(会費3,000円)

2. 3月セレモニー

今月に、誕生日(ご夫人を含む)、結婚記念日をお迎えになられる次の方に、

徳丸会長より記念品を贈呈して、会員一同心から祝福申し上げます。

[誕生日祝い]

山 脇 忍 君 神宮寺利夫君

伊東敬子さん 田村清子さん

[結婚記念日祝い]

梶田與之助君 恒吉正志君

2月のハッピー・ボイス(追加)

気が付くと、結婚生活も今年で32年目となります。

記念に頂いたグラスは、夫婦水入らずの晩酌時に大いに利用致したいと思えます。

ありがとうございました。

宮本信吾・洋子

3月のハッピー・ボイス

誕生の祝い有り難うございました。

“憂いも辛いも喰うの上”という諺がありますが、一応食べられるので未だ努力せねばと考えています。

IM、誠に有り難うございました。会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

山 脇 忍

誕生日毎に人生の節目を感じるなかで、「日々好日」、「日々健康」を大切にしています。

ありがとうございました。

伊東敬子

3月のハッピー・ボイス

今年で35回目の結婚記念日にRCの皆様方から御祝を頂き、厚く御礼申し上げます。

夫婦仲良く、健康に注意しながら、張っていききたいと思います。

梶田與之助・規子

早いもので、25周年目の結婚記念日を迎えました。

次は金婚式が迎えられよう、頑張ります。

恒吉正志

☆会員卓話

正岡文郁君

(今回はテープ録音が故障のため、別に正岡君から提供していただいた資料によりまとめました。)

一人前の禅僧になるためには、『僧堂の修行』という実習課程を経なければなりません。今日の卓話は、私のその修行の一部の体験談であります。

4月、古来からの「雲水」の旅装を整えた私は、師匠に見送られて大分を出発した。目的地のに着いて僧堂の門前に立つと、緊張感で足が震える。

薄暗い玄関の低い式台に低頭し、「タノミマショー」と大声を発してみる。しばらくして、「ドーレ」という重々しい応答があり、一人の雲水が現れた。自分の住所・氏名を告げ、願書・履歴書・誓約書を入れた封筒を差出して、「掛塔」

を頼む。取り次ぎの雲水は一旦奥へ伺いに行ったが、再び現れ、「当道場はただ今満員でゆとりがないので、お引取りください。」と言うと、そのまま奥へ入ってしまって出て来ない。ここで引き下がっては駄目なので、長い体を二つに曲げて抵頭を続ける。腰は痛み出し、額を載せた手の指は感覚がなくなって来る。すべての先輩住職達が耐えて突破して来た第一関門だと自分に言い聞かせて、頑張るが、大変な苦行である。これが『庭詰』と言われる修行で、通算まる2日することになる。

やっと投宿が許されると、玄関脇の4畳半ほどの小部屋に案内される。薄暗いかび臭い部屋で、「投宿帖」に本籍・授業寺・氏名などを記載し、1枚きりの蒲団にくるまって、まんじりともせず夜明けを迎えた。そして、朝食が済んだ後に番茶を1杯だけ振舞われてから、「どうぞご随意に出発を」と追い出された。

これを『旦過』と称している。

やむなく旅装を整えて玄関で座り込み、前日同様の『庭詰』の苦行を続けなければならぬのである。

3日目の朝になると追い立てはない。

第2の関門『旦過詰』が待っているのである。柱に立て掛けた袈裟文庫を睨んで、終日黙々と坐禅を続けなければならない。狭い個室に幽閉の形で独りぼつんと放置されるのは、まさに座敷牢である。

しかし、昔の先哲たちの示した求道の気迫を思えば、これくらいのことはやりぬかねばと自分を励ましたのであった。

(続く)